

## 5 吾野地区まちづくり構想



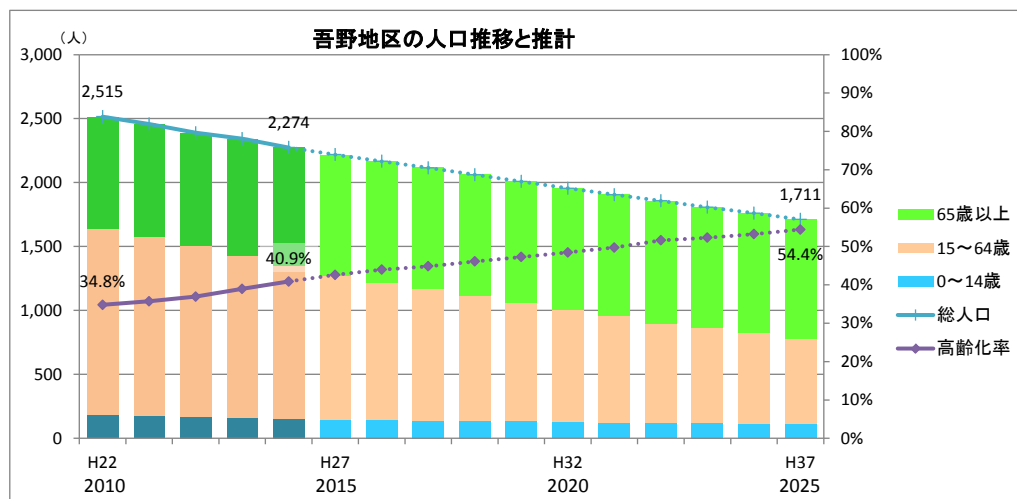
## (1) 地区の概況

区域区分	面積	市街化区域 面積	市街化区域 面積割合	DID 面積	DID 面積 割合
都市計画区域外	3458.0ha	0ha	0%	0ha	0%
人口	世帯数	人口密度	H26 高齢化率	H37 高齢化率	
2,135人	998世帯	61.7人/km <sup>2</sup>	40.9%	54.4%	

\*人口・世帯：平成28年1月1日時点

\*高齢化率：第5次総振

■地区別人口（第5次総振）



■地区の特性

- ◆市の北西端に位置し、豊かな森林と高麗川を有する
- ◆恵まれた自然環境と清流「高麗川」
- ◆国道299号沿いに集落が形成
  - 【自然・地域資源】高麗川・伊豆ヶ岳・正丸峠・苅場坂峠・東郷公園・休暇村奥武蔵
  - 【歴史・文化遺産】高山不動尊・不動堂・子ノ権現・旧吾野宿・旧南川小学校・旧北川小学校・旧高山小学校
  - 【鉄道駅】吾野駅・西吾野駅・正丸駅
  - 【生活拠点】吾野駅周辺・西吾野駅周辺

■地区の課題

- ◆清流の保全のために合併処理浄化槽の普及
- ◆未給水地域の解消
- ◆公共交通の維持確保
- ◆空き家・空き教室の利活用
- ◆水と緑を生かしたまちづくり
- ◆自然災害等に対する防災対策

## (2) 地区まちづくりの目標

### ■まちづくりのキーワード

- ①花咲く街道と源流地域の特色を生かしたまちづくり
  - ▶国道 299 号を花咲く街道として整備
  - ▶源流地域としての清流の保全と活用
  - ▶山間地域の住環境の保全と整備
  - ▶飲料水の安定供給
  - ▶合併処理浄化槽の設置促進と水質浄化
- ②伝統的なたたずまいと交流を促す小学校跡地を生かしたまちづくり
  - ▶伝統的な街並み景観、歴史景観の保全と活用
  - ▶廃校となった小学校2校の再生利用
  - ▶空き家や山村資源を活用したエコツーリズムによる交流を生む集落環境の形成
- ③豊かな自然環境の中で情報基盤や生活基盤が整った暮らしのあるまちづくり
  - ▶豊かな自然環境、里山環境の保全と活用
  - ▶情報基盤の整備
  - ▶自然災害の防止と森林整備
  - ▶自然環境、農林業環境の調和と良好な住環境の確保

## (3) 地区まちづくりの方針

### 1) 土地利用の方針

#### ①吾野駅周辺

- 吾野駅周辺は、西川林業により育まれた歴史・文化が残り、宿場町の面影を感じる伝統的な街並みを保存・活用し、交流や定住にふさわしい環境の形成を図ります。
- 吾野の玄関口にふさわしい情報発信機能や来訪者へのサービス機能の充実を図るとともに、自動車・自転車による利用の利便性を向上するため、駅のバリアフリー化や駅前交通広場、駐車場、駐輪場などの確保を図ります。

#### ②西吾野駅周辺

- 吾野地区行政センター、吾野小学校などが立地する三社地区を含む西吾野駅周辺を吾野地区の「生活拠点」として位置づけ、生活基盤の整備を進めるとともに、商業施設など生活利便施設の集積を図り、賑わいのある生活の中心ゾーンとしての形成を図ります。
- バリアフリー化など西吾野駅の利便性の向上を図るとともに、自動車・自転車による利用の利便性を向上するため、駅前交通広場、駐車場、駐輪場などの確保を図ります。

### ③正丸駅周辺

- ハイキングを楽しむ多くの来訪者の玄関口として、ハイキングルートの情報や観光サービス機能の充実を図ります。
- ハイキングのまちにふさわしい景観形成を図るとともに、観光施設の集積を図り、自然と観光が調和した土地利用を進めます。

### ④国道 299 号沿道

- 商業施設、観光施設、サービス施設などの適正な立地を促進し、花などによるうるおいと歴史ある吾野道を感じる街並みの形成を図ります。
- 住宅需要に対応して適切な誘導を行うことにより、景観に配慮し、周辺の豊かな自然環境や農林業環境と調和した土地利用を図ります。

### ⑤農山村集落地

- 農村集落地は、生活環境整備を進め、周辺の豊かな自然環境や農林業環境と調和した土地利用を図ります。
- 山村集落地は、環境と共生する伝統的な形態を生かしつつ、生活基盤整備を進め、ゆとりある土地利用の推進を図ります。
- ウラジログシ林など豊かな自然が残る南川地区では、森林の保全を図るとともに、自然と調和する農山村集落の環境整備を進めます。
- 集落地の豊かな自然環境の中で暮らせる農山村地域として、また、だれでもできる農業の場を創出し、定住環境の形成を図ります。

#### 【まちづくりのメニュー】

- ・生活拠点の関連施設と環境の整備と充実
- ・花咲く街道として、特色ある吾野道の形成
- ・自然と調和した居住環境と定住環境の形成
- ・ハイキングや観光情報とサービス機能の充実

## 2) 交通体系の方針

### ①地域の移動手段

- 将来の外出に対する不安への対応について、スクールバスや鉄道などの地域資源との連携を含み検討します。
- 高齢者などの交通弱者をはじめ、住民の日常生活の利便性を確保するため、既存の公共交通と連携して地域での生活を支える新たな移動手段を検討します。
- 地区の実情にあった市民相互の助け合いにより、暮らしやすい移動交通の仕組みづくりを進めます。

## ②道路

### ●国道 299 号

○歩道の未設置区間を解消し、歩行者が安心して通行できる道路空間としての整備を促進します。

### ●県道南川上名栗線

○車道拡幅などの改良整備を促進し、走行性の向上を図ります。

### ●奥武蔵・（仮）正丸グリーンライン

○尾根筋を走り、苅場坂峠と顔振峠を結ぶ奥武蔵グリーンラインは、歩行者にも安全で観光ルートにふさわしい道路空間の整備を促進します。

○奥武蔵グリーンラインと主要地方道青梅秩父線を結ぶルート（仮）正丸グリーンラインと位置づけ、正丸峠からの展望を楽しみ、名栗地区の観光施設へつなげる観光ルートにふさわしい整備充実を図ります。

#### 【まちづくりのメニュー】

- ・公共交通の維持確保
- ・歩行者が安心して通行できる道路空間の整備

## 3) 水と緑のまちづくりの方針

### ①高麗川

○川に沿って散策道や休憩広場を設置することにより、地域住民にとって身近に感じる空間となるよう、親水性の向上を図ります。

○河岸林の植樹や花の植え込みなどにより、一般国道 299 号からの眺望が、水辺と豊かな自然環境を感じる景観を形成するよう整備を図ります。

### ②休暇村奥武蔵周辺

○休暇村奥武蔵周辺を「水と緑の交流拠点」として位置づけ、観光振興にも寄与する中心ゾーンとしての形成を図ります。

○休暇村奥武蔵の活用を促進し、市民・観光客の憩いや環境学習など自然体験の場として、また、水辺に親しみ、レクリエーションの場となる親水空間として充実を図ります。

### ③水と緑のネットワーク

○「都市回廊空間」と山間地をネットワークする「水と緑の交流」をまちづくりの新基軸に据え、自然環境と都市環境が融合・調和するまちへの転換を図ります。

○高麗川や東郷公園、旧南川・旧北川小学校、高山不動尊、法光寺など地域の名所・史跡を巡り、東吾野地区、名栗地区にもつながるルートを自然・歴史・文化を楽しむ散歩道として設定し、回遊性のあるネットワーク形成を図ります。

○奥武蔵グリーンラインと並行するルートや峠を結ぶ尾根筋のルートについては、やまなみの眺望を楽しむ場の確保を図り、眺望を生かした道づくりを検討します。

- 観光客が安全・快適に楽しむことができるよう、指導標の設置やサイクリング環境の整備、ハイキングコース、観光トイレ等の整備を推進します。
- 山あいの家々を訪ねるふれあいツアーなど、地域の生活文化や伝統を生かすエコツアーリズムが展開できる住民活動の場を確保し、交流を促す環境の創出を図ります。

【まちづくりのメニュー】

- ・水辺環境を生かした親水空間の創出
- ・「都市回廊空間」と「水と緑の交流拠点」の活性化と融合
- ・自然環境の保全と生物多様性の保全
- ・エコツアーリズムの展開と交流促進

#### 4) 景観に配慮したまちづくりの方針

- 西川材などの地域資源の活用により、後背地の自然景観と調和した集落地景観の形成を図ります。
- 西川材を使用した住宅等の建築や板塀の設置に対し補助金を交付し、木のぬくもりや地域の個性を感じる景観形成を図ります。
- 幹線道路沿道は広葉樹化を進め、四季を感じる自然景観の創出を図ります。
- 旧吾野宿の歴史的な街並みや吾野地区の木造公共建築物を保全し、歴史を感じる景観形成を図ります。
- 豊かな自然景観や街並み景観の保全と創出を図るために、景観計画の策定を検討します。

【まちづくりのメニュー】

- ・自然環境と調和する街並み景観の形成
- ・歴史的建造物や西川材を利用した景観まちづくり

#### 5) 安心・安全なまちづくりの方針

- 合併処理浄化槽の設置促進など、地域の状況に応じた排水処理により水質汚濁を防止し、河川・水路などの多様な水辺環境の保全を図ります。
- 未給水地区への対応として、山間地域給水施設整備等補助金制度の啓発に努めます。
- 空き家に対して、市と民間、地域が連携し、地域に適した空き家の利活用を図ります。また空き家の実態把握に努め、維持管理を所有者に促すなど、適切な対応を図ります。
- 女性や若い世代が安心して子育てができるよう、地域コミュニティ機能を強化し、地域全体での子育て支援を図ります。



- 緊急輸送道路沿道の建物の耐震・不燃化を促進し、緊急用の輸送道路や避難路を確保します。
- 地すべり、斜面崩壊などの土砂災害に対する治山・治水事業を促進するとともに、農林行政と連携し、土砂災害などを未然に防ぐ総合的な施策の展開を図ります。
- 危険区域の周知、警戒避難体制の充実を図りつつ、開発防災マップを活用し、山間地、丘陵地における急傾斜地の開発を抑制し、土砂災害の軽減を目指し安全な住環境整備を進めます。
- 地区行政センターほか地区内にある公共施設等の将来の活用形態や適正規模を見据え、地域住民の生活・活動拠点の整備・配置を検討します。
- 「第2次飯能市環境基本計画」に基づき、太陽光や太陽熱、バイオマス等の再生可能エネルギーの住宅や公共施設への導入を促進します。

**【まちづくりのメニュー】**

- ・ 合併処理浄化槽の設置促進と水辺環境の保全
- ・ 未給水地域の給水施設整備のための補助金制度の活用
- ・ 緊急輸送道路沿道の建物の耐震・不燃化を促進
- ・ 地域ぐるみの子育て支援
- ・ 自然災害等に対する防災対策
- ・ 再生可能エネルギーの導入促進



■吾野地区まちづくり方針図

